

ちよるん News

Vol.01

こうちエコチル調査 会報誌



子どもの健康と環境に関する全国調査



4,000組の親子が参加

2011年1月末にスタートした「こうちエコチル調査」今年はいよいよ3年目を迎え、調査に参加して下さる親子の募集・登録の最終年となります。

2013年1月末現在、高知県で調査に参加している親子は4,000組を超え、目標の6,000組まであと少しというところまで来ました。

参加している方がお友だちに声を掛けて下さったりして、調査の輪はどんどん広がっています。ありがとうございます。

そこで今回、その輪の始まりにあたる、登録第1号の親子にお会いしてきました。

エコチルベビー 第1号は 好奇心旺盛な女の子

岩井 由里さん 31歳
心来ちゃん 1歳3か月
2011年9月1日生まれ

「こうちエコチル調査の1番最初の同意者が岩井由里さんでした。由里さんは大学院に通われていたときに、地域医療の授業で、エコチル調査について聞いたことがあったそうなんです。はい。調査の意義がわかっていたので参加をすぐに決めました。調査は妊婦健診に合わせて、そんなに面倒ではなかったです。今は質問票に書き込む調査ですが、半年に1回なので負担はありません。」

「こうちエコチル調査とは性格も違うし、それぞれ個性があるなあ」と実感する毎日です。

成長でいいと、離乳食がうまく進まず、お姉ちゃんのとときは違いますが、調査については、調査に参加している親子向けのイベントに期待しています。開催するのなら、私も手伝いたいぐらい！

「調査は半年に1回なので、『あっ、来た』という感覚で、忘れないう限りは続けていけると思っています。」

「寝起きの心来ちゃんですが、人見知りもせずニコニコ笑顔で迎えてくれました。やさしいママとかわいい心来ちゃんに癒されたインタビューです。ありがとうございました。」

お姉ちゃんを迎えに毎日保育園に行きます。保育園が大好き！

出産予定は8月23日でしたが、9月1日に生まれました。実は、パパもお姉ちゃんも9月生まれ。どうしても9月生まれにしたいかったのかな。

本誌への感想をお寄せください。プレゼントの応募もあります。くわしくはウラ面をご覧ください。



わたしの おすすめ 絵本

子育ての役に立つ おすすめ情報 を 事務局スタッフが 紹介します！



まめうし

文/絵:あきやま ただし
出版社:PHP 研究所

『まめうし』は、まめつぶらしい小さな子うしが主人公のお話です。あきやま ただしさんの作品は、小学校低学年向けの読み聞かせでよく活用されています。どれも斬新で、その世界観に子どもたちがくぎ付けになること間違いなし。「うみきりん」「ひまわり」など、一度聞いたら忘れないうユニークなネーミングにも注目してください。

STAFF 武市 ゆきの

ダース・グエイダーと ルーク (4才)

文/絵:ジェフリー・ブラウン
訳:とみなが あきこ
出版社:辰巳出版

みなさまご存知のスターウォーズシリーズから、エピソード3.5として描かれている心温まる父子愛の絵本をご紹介します。ここに登場するルークと同年代のお子さまがいっしょにご家庭なら、共感される場面も多いのでは? ぜひ、「おとうさん」に見ていただきたい一冊です。

STAFF 岡本 佳代

MR.BUMP

文/絵:ロジャー・ハーグリーブス
訳:ほむら ひろし
出版社:ポプラ社

英語圏はもちろん30か国以上で愛されている絵本シリーズ。原本ではMr. BUMP (ドジドジくん)、Mr. TICKLE (コチョコチョくん) など、キャラクターが約50も! くすぐるのが大好きなMr. TICKLEは、手がびよんと伸びてみんなをくすぐったり、Mr. BUMPはその名の通りいつも何かにぶつかってこぼだらけだったり。こんな絵本なら子どももきっと英語が大好きになること間違いなし! 女の子が主役のLittle MISS シリーズもおススメ。

STAFF 安光 ラヴェル 香保子

県からのお知らせ

あなたのお子さんは 1歳6か月児健診を受けていますか?

高知県の1歳6か月児健診の受診率(H23年度)は83.5%で、全国平均の94.0%と比べると約10%も低くなっています。市町村で実施している1歳6か月児健診は、医師や歯科医師、臨床心理士、栄養士、保健師などの専門スタッフにより、お子さんの成長や発達の様子を総合的に確認するとともに、見逃されやすい病気を早く見つけて治療につなげるためにとても重要な機会です。また、育児に関する助言が受けられるほか、不安などの相談にも応じています。保育所などの健康診断に代わるものではありませんので、1歳6か月児健診の案内が届いたら必ず受けるようにしてください。

乳幼児健診のお問い合わせ先はお住まいの市町村の母子保健担当課(保健センター)まで
高知県健康対策課 TEL.088-823-9678

present プレゼント

本誌を読んだ感想や要望、エコチル調査に関する質問などをお寄せください。いただいたご意見を紙面にも反映させていただきます。と考えています。ご応募くださった方の中から抽選で5名様にオリジナルキャラクター「ちよるん」のグッズをプレゼントします。

◎応募方法
ハガキに住所・氏名・電話番号をご記入の上ご応募ください。

◎応募締切
2013年5月31日(金)消印有効

◎当選発表
賞品の発送をもってかえさせていただきます。

◎応募先
〒783-8505
南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部内
エコチル調査 高知ユニットセンター事務局
ちよるんニュースプレゼント係

ちよるん News 創刊号、いかがでしたか? ご協力いただいた質問票の内容を元に姉妹さんの喫煙状況や食生活などについて発表がされました。ご興味のある方はぜひ、環境省エコチル調査のホームページをご覧ください。

今後もエコチル調査へのご協力をよろしく願っています。楽しみに待っていてください。1月23日にはエコチル調査開始2周年記念イベントが東京で開催されました。皆さんに

お問い合わせ

◆エコチル調査コールセンター〈全国共通〉
TEL.0120-53-5252 | 年中無休 | 9:00-21:00 |
mail info@kochi-ecochil.jp

◆エコチル調査ホームページ
エコチル調査 検索
http://www.env.go.jp/chemil/echi/

【高知大学は、平成22年4月12日、環境省の定める「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」のユニットセンターに認定されました。

◆高知エコチル調査に関するお問い合わせ〈高知県〉
TEL.088-880-2173 | 土・日・祝日をのぞく | 9:00-17:00 |
mail info@kochi-ecochil.jp

こうちエコチル 検索 http://kochi-ecochil.jp/

高知大学医学部内 エコチル調査 高知ユニットセンター事務局 | 〒783-8505 南国市岡豊町小蓮
高知大学内 朝倉分室 | 〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1

Japan Eco & Child Study
こうちエコチル調査
Teikoku University / Kansai University / Osaka University

2013年2月発行

未来の子どもたちのために、 今わたしたちができること。

特集
EcoChild
Survey

エコチル調査に協力してくれている親子3組を迎え、菅沼教授と中町コーディネーターがお話を伺いました。同じ年頃の子育てをお母さん同士、初めての顔合わせでしたがすぐに打ち解けて、子育てについて話が弾みました。

エコチル調査に参加して

中町 エコチル調査は2011年に始まった調査で、初めて知る方が多かったと思うのですが、興味をもって積極的に参加していただいて、とても感謝しています。

正岡 私の場合は知り合いに参加者がいて、「妊娠した人がいたら教えてね」といわれていたので第3子を妊娠したので、じゃあ私も参加してみよう、血液検査などを最初からしていたので、ありがたかったです。

高橋 私は、出産した病院で知って、調査員の方からやりやすく説明していただきました。今は、協力できることがうれしいです。なんだかいいことをしているような気持ちになって、仕事を接客なので、お客様との話題にはわりと情報交換もしています。子どもが成長したときに「生まれの前からずっと続けているんだ」と話してあげられるのもいいなと思っています。

國澤 私も病院からの紹介です。期間が13年と長いので最初は少し不安に思いましたが、自分がどう感じるか、とりあえずやってみよう。家族も興味を持ってやっています。友人たちの出産が最近増えているので調査に参加する人も結構いて、今は順調に続けられています。

日本全国で10万組が参加

菅沼 この調査は日本を含め、世界的な規模で行われています。1997年頃から、環境中の化学物質の問題



座談会にご協力、ご参加いただいたみなさん。

が子どもたちの健康にどうかかわってくるか、研究が必要だと言われるようになったからです。化学物質の影響や遺伝的要因、生活習慣、人間関係などの要素を合わせて考えてみたら関係ははっきりしてくるのではないかと、そう考えられています。

正岡 子どもの環境という、私が小さかった頃と今の子育てでは違うことが多いんです。親が口で囁いたものを赤ちゃんにあげると虫歯がうつるとか、体を持ち上げる。たかいたかいは、脳を振るからよくないとか、携帯電話に代表される電磁波も、幕しの中にたくさんありますからその影響も心配だし、知りたいところです。

菅沼 この調査の強みは、高知県で6000組、日本全国で10万組を調査するという規模の大きさです。10万人というのはいろんな病気の頻度を調べる調査の数で、ある程度の数値が出てくるんです。

國澤 身近なところで私が一番気になるのはタバコです。主人が吸うので子どもが生まれてからは、家の中を禁煙にしたり、本数を減らしたりしています。外出時めばこの煙のあるところは後ずさり(笑)、入らないようにしますね。

菅沼 たばこの問題は重要で、よく赤ちゃんのいるところでは吸わないという人がいらっしやいますが、たばこの

の粒子というのはすごく小さくて、目の前で吸わなくても部屋には残っているんです。ご主人が禁煙に向かっているのとても素晴らしいことです。

子どもたちの成長とともに

高橋 私はどちらかというとまっぴいがかって思うタイプ(笑)。妊娠したときからたばこや電磁波も大丈夫、大丈夫！って気にしなかったんです。これから始まる離乳食もこんなものはだめと母親から聞いても、自分の楽な方を優先するところろがあつて、でも今ここで、それはいけないんだ、と思いました！

正岡 でも、神経質になりすぎるというのもよくないと言いますよね。そのバランスがとても難しい。

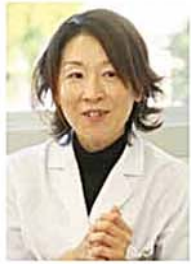
菅沼 確かに、気にしすぎない心の持ち方も大切です。みなさん、お子さんのために、こういうことは気をつけていこうという、道しるべのようなものがあるといいですよね。

高橋 そうなんです。今、普通にやっていることが、とだけ体と悪いのか、それをどのくらい続けたらどんな影響が出てくるのか不安です。

正岡 食生活についても大人である私たちへの善し悪しがわからないのに、子どもに与える影響は、なおさらわからないですよね。

菅沼 このエコチル調査には、そのようなことを明らかにしていこうという狙いもあるんです。

中町 これからお子さんたちの成長とともに、エコチル調査は進んでいきます。子どもたちが大人になった社会の環境がどうなっているのか、日本だけでなく、世界的な変化を見ることがとても重要です。日常が世界につながるこの調査に、これからもぜひご協力をお願いします。



Nakamachi Chikage



Suganuma Narufumi



Takahashi Wakana



Kunikida Shino



Massaka Maki



Takumi Naofumi



エコチル調査参加者
國澤 志乃さん(31歳)
匠生くん、尚史くん(2012年3月6日生まれ)

エコチル調査参加者
高橋 若菜さん(33歳)
良貴くん(2012年9月12日生まれ)

エコチル調査参加者
正岡 真紀さん(45歳)
奈々ちゃん(2012年1月7日生まれ)



こどもエコチル調査
キヤラクター
ちよるるん Cholutan